

い か ご

I K A G O 通信

滋賀県湖北地域振興局木之本建設管理部
 〒529-0426 滋賀県伊香郡木之本町黒田1234
 TEL 0749-82-3434 FAX 0749-82-2654
 E-mail ha3602@pref.shiga.jp
 URL <http://www.pref.shiga.jp/h/ki-doboku/>

初春の温かい日差しを浴びて、琵琶湖の水も少しずつ温み始め、動植物達もいきいきと動き出しました。

ここ木之本建設管理部管内には、たくさんの「お花見スポット」があり、中でも奥琵琶湖パークウェイは沿道の約4000本もの桜並木が、まるでピンクの帯のように続き、ダイナミックな桜の姿を堪能することができます。途中の葛籠崎の展望台からは雄大な奥琵琶湖の景色も望め、全国屈指の人気を集めています。



お知らせボックス

「湖北サイクルロード」って呼んで

湖北地域振興局では、昨年度から「サイクリングみちしるべ整備計画検討委員会」を設置し、湖北サイクリングコースの案内標識の整備計画を検討するとともに、シンボルマーク・愛称を募集しました。

平成15年12月の第4回委員会において、優秀賞にびわ町の蒲生美恵さんの描いたシンボルマークと、虎姫町の野口成人さんが考案した愛称を選定しました。

愛 称

湖北サイクルロード

統一性のある案内標識を設置し、湖北の名所・旧跡のネットワーク化を図り、より安全で分かりやすい湖北サイクルロードにいきます。今年度から案内標識の整備工事に取りかかります。

シンボルマーク



ことばNOW

新技術

とうぶれんけつがたほきょうどこうほう
- 頭部連結型補強土工法 -

土木構造物は、その機能を十分に果たすとともに、環境や景観等にも配慮する必要があることから、木之本建設管理部では様々な新技術を取り入れています。

一例として、急傾斜地の保全を図るため、従来の法枠工法に替え、頭部連結型補強土工法で施工している現場があります。従来は、急傾斜地の表面崩壊をコンクリートで固めて防いできましたが、この工法では金属製のワイヤーで押さえこむことにより防ぎます。

頭部連結型補強土工法は法枠工法と比べ、次のような利点があります。

1. 樹木の伐採が最小限で済むため、景観に与える影響も少なくなります。
2. 地面はそのままのため、施工後の植生の回復が速くなります。
3. 樹木の伐採、掘削・盛土などの土工、コンクリートの打設等が少なくて済むため、工期が短くなります。



従来の法枠工法(写真上)と頭部連結型補強土工法(写真右)

地域の魅力紹介

やまかどすいげん 山門水源の森 - にしあざい やまかど 西浅井町山門 -

山門水源の森は、伊香郡西浅井町の福井県境に近い野坂山地にあります。この森は、ブナ林・ミズナラ林・アカガシ林・コナラ林・アカマツ林・すぎ・ヒノキの多様な林で構成され、暖帯のアカガシ林と温帯のブナ林が隣接している大変珍しい森です。森の中心に山門湿原があります。ここは、近畿でも珍しい高層湿原で貴重な植物が残っています。また、生物の多様性に富むビオトープの里山です。

この森は、滋賀県が所有する保安林で、みなさんが訪れやすいように、ハイキングコースが設置されたり、湿原の周りに木柵や展望台が設置されています。平成7年(1995年)には、林野庁の「日本水源の森100選」に選ばれています。

自然観察会等、ご当地へのお出かけ情報は、西浅井町観光課(0749-87-1121)または、西浅井町町のホームページで紹介されています。



凍る山門湿原(12 - 2月)



ミツガシワ(5月)絶滅危惧増大種



湿原を飾るミツガシワの群落

古道紀行

ほっこく 北国街道 - きのもと きのもと 木之本町木之本 -

うだつの街並みにおける

ホットな雪だるまコンテスト

江戸時代の主要道であった北国街道、その街道筋にあたる地蔵さんのまち木之本は、うだつのある家並みや紅柄格子、犬矢来、つばどめ等当時の風情を残して

います。

2月8日から22日まで、この美しい街並みの軒先に雪だるまを造って並べ、冬の名残と春の訪れを待ちわびるかのような催しが、SLで降りられた観光客の目を楽しませました。



雪だるまコンテストの様子
家屋にはうだつがあります。



犬矢来(奥)とつばどめ(手前)
北国街道の風情を残す家並みが続いています。

各課紹介

けいかくちょうせいか
計画調整課

よご
余呉川管理担当 (余呉川管理事務所)

TEL : 0749-86-3041

当事務所では、余呉川の氾濫の防止や利水、環境保全、設備の維持管理などが主な業務です。小説やマスコミにも取り上げられ「鏡湖」として有名な余呉湖ですが、通常はダムとして管理・運用しています。

大雨で余呉川が危険なときは、余呉川の水を一旦余呉湖に貯水して下流の安全を確認しながら余呉湖から少しずつ放流します(洪水調節と言います)。増水時や放流するときには、サイレンや情報板でお知らせしますので、絶対に川に近づかないで下さい。

余呉湖一口メモ・・・琵琶湖より約49m高い ・最大水深：約13m ・湖周：約6.4Km ・貯水量：1,470万m³

また、近年、余呉湖も富栄養化が進んでいることから定期的な水質調査や爆気装置の設置など、水質改善にも積極的に取り組んでいます。

平成15年12月には、新庁舎も完成し、全てのゲートや警報局は事務所からコントロールできるようになりました。事務所正面には、羽衣をイメージしたデザインを施し、玄関横にはホールも設けています。余呉湖においでの際は、ぜひお立ち寄り下さい。



まさに「鏡湖」



新庁舎



コントロール室

公共事業内容の公表

だいきぼじしん

大規模地震にも負けない橋へ

国道303号補助舗装道補修(橋梁耐震対策)工事

西浅井町大浦の国道303号新栄橋では、橋脚の補強や落橋防止装置の設置などの耐震対策工事を行います。国道303号は、岐阜県・滋賀県・福井県を連絡する重要な路線で、震災時などの緊急輸送道路に指定されています。大規

模地震にも負けない橋をつくり、緊急輸送道路を確保します。

橋梁延長：102.4m

事業費：7千万円

完成予定：平成16年度



きょうざかくふく
橋座拡幅

はしげた
橋桁のかかる台座の幅を広げます



落橋防止装置

橋桁と橋台を鋼材で連結します

(写真は既に完成している他の橋梁の事例)

ご意見・お問い合わせ先

電話 TEL : 0749-82-3889
ファックス FAX : 0749-82-2654

電子メール E-mail : ha3605@pref.shiga.jp
木之本建設管理部 維持補修担当

道路事業

ざんていきょうようかいし

暫定供用開始しています

やのくま

国道303号岩熊トンネル

岩熊トンネルは、交通量の増加と車輛の大型化により狭隘きょうあいとなっていたため、平成8年度より国庫補助事業の採択を受けて第二トンネルとその取付部の工事を進めてきました。平成12年度に第二トンネル(延長796m)が完成、平成15年度に取付部について

も一部区間を除いて完成し暫定供用開始しています。

全体事業費は、トンネルと取付部をあわせて44億2千万円です。この工事により自動車をはじめとして自転車や歩行者のみなさまについても安全でスムーズに通行していただけるようになりました。



岩熊側から見た新旧トンネル



八田部側から見た新旧トンネル



岩熊側取付部

河川事業

かせんじょうほうきばんきんきゅうせいびじぎょう
河川情報基盤緊急整備事業

滋賀県は、周囲を大小の山々に囲まれ、ほとんどの河川が琵琶湖に向かって流れ込んでいます。県内には土砂災害の危険箇所が数多くあり、また、局地的な大雨や長雨によって洪水などの災害にみまわれることも度々あります。滋賀県では、こうした状況に対処する

ため、降雨や河川水位の情報をいち早く把握し、素早い伝達を目的とした、河川情報基盤緊急整備事業を進めています。その事業の一環として、平成15年度に高月町落川地先の高時川において水位計を、また木之本町音羽地先において雨量計を新たに設置しました。



水位計

(写真は既に完成している他の箇所の事例)



雨量計

編集後記

湖北地方の長い冬も終わり、ようやく春がやってきました。年度変わりでもあり、皆様も新しい人との出会い、新しいものとの関わりがあるのではないのでしょうか。同じように、住んでいる地域や滋賀県にも、新たに目を向ける機会になるのではないのでしょうか。「I K A G O 通信」が、今後の地域や滋賀県を考えるきっかけになるよう、編集委員一同よりよい紙面づくりに励みたいと思います。

発行：木之本建設管理部パブリシティ委員会 事務局：計画調整課 TEL：0749-82-3881